

# スーパーマーケット景気動向調査

2018年7月調査結果（6月実績）  
（2018年7月20日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## 7月調査（6月実績）結果概況

### 景気判断DIは現状・見通しともに大幅な改善

6月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI現状判断は前月から+3.8の45.6、見通し判断は前月から+4.1の44.2となり、どちらも大幅な改善をみせた。

経営動向調査では、売上高DIが-7.2、収益DIは-7.3と前月の二桁からマイナス幅を縮小した。食品仕入原価DIと生鮮仕入原価DIは共に小幅な上昇をみせ、客単価DIが4.9とプラス圏に回復したことが売上DIの改善につながった。一方で来客数DIは-16.0と二桁のマイナスとなり引き続き低迷している。カテゴリー動向調査では、土曜日が1日多い曜日巡りや気温上昇などを追い風に一般食品DIが+8.1、日配DIが+2.6と上昇をみせた。また、前年からの相場の低下に苦しむ青果カテゴリーでも果物類が牽引し-7.2、アニサキス報道から1年が経過した水産DIも-8.0までマイナス幅を縮小した。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では、現状判断、見通し判断ともに大きく改善をみせた。特にここ数か月で低下が著しかった中核店舗景気判断DIや消費者購買意欲DIに大きな改善がみられている。

今回の改善は、青果相場安や水産の不振から1年が経過し悪材料出尽くし感が背景にあるとみられる。土曜日が1日多い恩恵に対し、週末用の商材を訴求し成果をあげ客単価を上昇させたこともマインドの下支えとなった。一方で客数減には歯止めがかかっておらず、有効な対策への取り組みが求められる状況であることに変わりはない。今回の反転が持続的な回復に結び付くか次月以降の動向を注視したい。

#### 景況感調査

##### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月：45.6 (+3.8) 前月：41.8	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：45.5 (+3.2) 前月：42.3	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：41.0 (+0.9) 前月：40.1	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：47.0 (+1.5) 前月：45.5
--	---	---	---

##### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月：44.2 (+4.1) 前月：40.1	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：44.7 (+2.3) 前月：42.4	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：40.7 (+2.1) 前月：38.6	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：46.6 (+1.4) 前月：45.2
--	---	---	---

#### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月：-7.2 (+9.7) 前月：-16.9	<b>客単価DI</b> 当月：4.9 (+4.8) 前月：0.1	<b>来客数DI</b> 当月：-16.0 (+2.3) 前月：-18.3	
<b>収益DI</b> 当月：-7.3 (+2.8) 前月：-10.1	<b>販売価格DI</b> 当月：0.0 (+2.3) 前月：-2.3	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月：3.0 (+2.2) 前月：0.8	<b>食品仕入原価DI</b> 当月：6.1 (+2.9) 前月：3.2

#### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月：-7.2 (+7.4) 前月：-14.6	<b>水産DI</b> 当月：-8.0 (+5.3) 前月：-13.3	<b>畜産DI</b> 当月：-3.6 (-1.1) 前月：-2.5	
<b>惣菜DI</b> 当月：-0.8 (+3.5) 前月：-4.3	<b>日配DI</b> 当月：-6.1 (+2.6) 前月：-8.7	<b>一般食品DI</b> 当月：-2.2 (+8.1) 前月：-10.3	<b>非食品DI</b> 当月：-10.2 (+3.9) 前月：-14.1

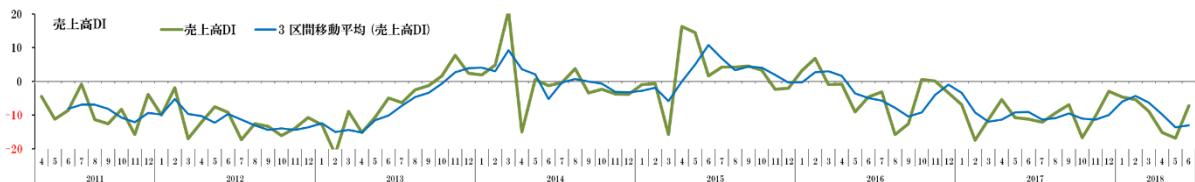
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

## 7月調査（6月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

### 1. 売上高DI

5ヵ月連続低下から反転上昇をみせる

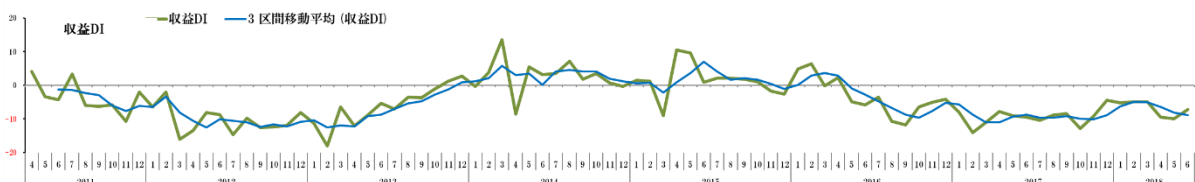
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	16.5	47.0	25.0	10.5	1.0	-16.9
売上高（当月）	<b>10.3</b>	<b>34.5</b>	<b>29.9</b>	<b>24.2</b>	<b>1.0</b>	<b>-7.2</b>



### 2. 収益DI

低迷が続くなか、小幅に上昇をみせる

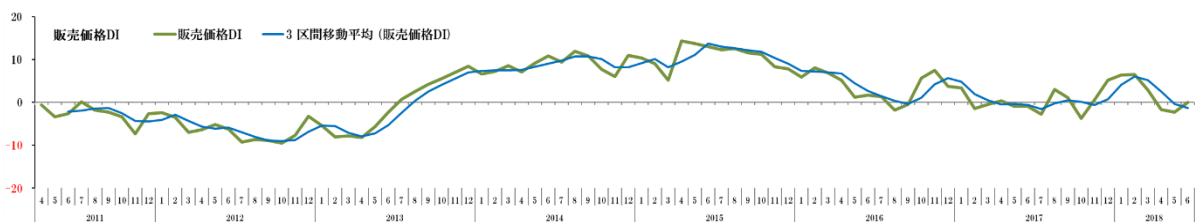
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	10.3	39.7	32.0	16.0	2.1	-10.1
収益（当月）	<b>8.3</b>	<b>37.5</b>	<b>31.3</b>	<b>20.8</b>	<b>2.1</b>	<b>-7.3</b>



### 3. 販売価格DI

わずかに上昇し、マイナス幅を縮める

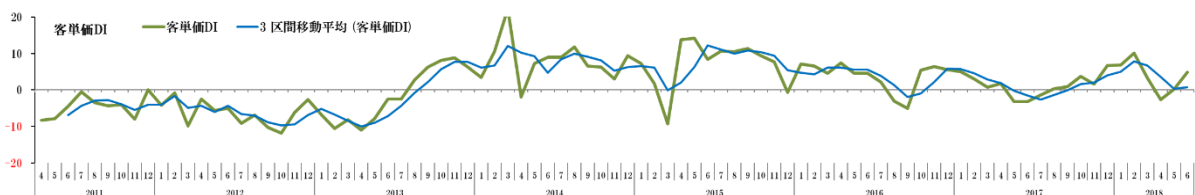
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	20.7	67.7	11.6	0.0	-2.3
販売価格（当月）	<b>0.5</b>	<b>17.9</b>	<b>62.8</b>	<b>18.9</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>



### 4. 客単価DI

反転上昇し、プラス圏を回復

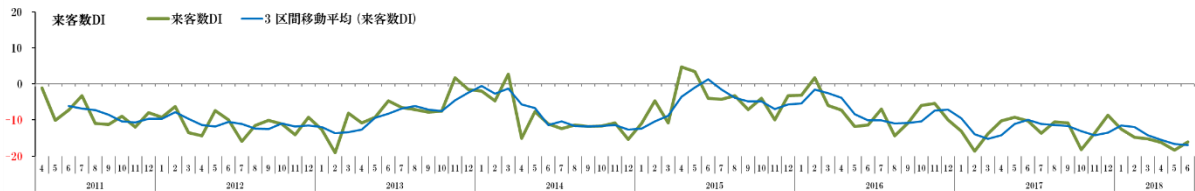
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	1.5	23.7	47.5	27.3	0.0	0.1
客単価（当月）	<b>1.0</b>	<b>16.4</b>	<b>45.1</b>	<b>36.9</b>	<b>0.5</b>	<b>4.9</b>



## 5. 来客数 DI

二桁マイナス水準が継続し、反転の兆しみられず

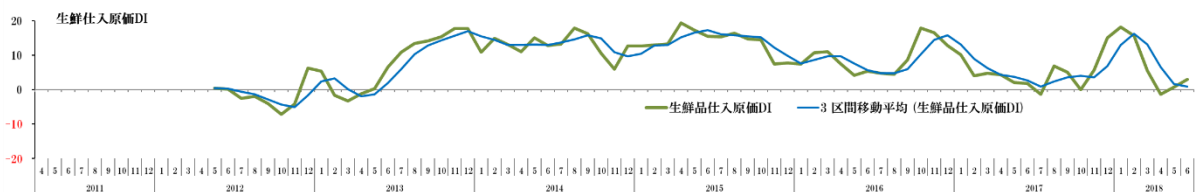
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	14.6	51.0	27.8	6.1	0.5	-18.3
<b>来客数 (当月)</b>	<b>13.3</b>	<b>47.7</b>	<b>29.2</b>	<b>9.2</b>	<b>0.5</b>	<b>-16.0</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

わずかに上昇し、プラス圏を継続

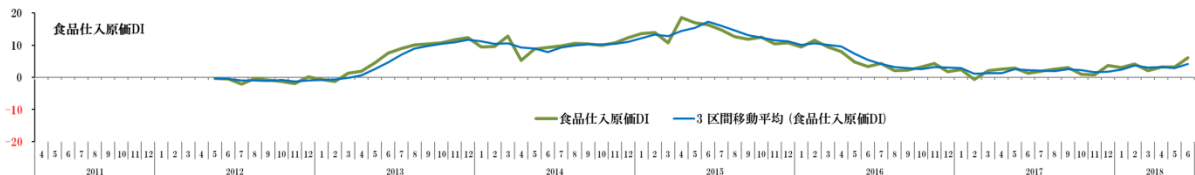
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	2.1	19.5	54.4	21.5	2.6	0.8
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>1.0</b>	<b>16.2</b>	<b>55.0</b>	<b>25.1</b>	<b>2.6</b>	<b>3.0</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

わずかに上昇し、プラス幅をやや拡大

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.0	9.7	62.8	24.5	1.0	3.2
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>2.1</b>	<b>4.2</b>	<b>63.0</b>	<b>28.6</b>	<b>2.1</b>	<b>6.1</b>

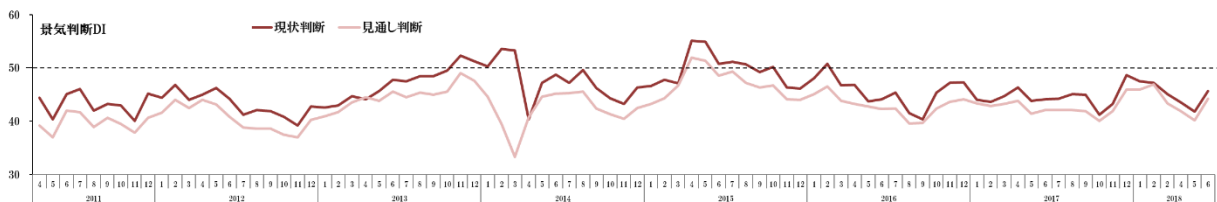


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に大きく改善

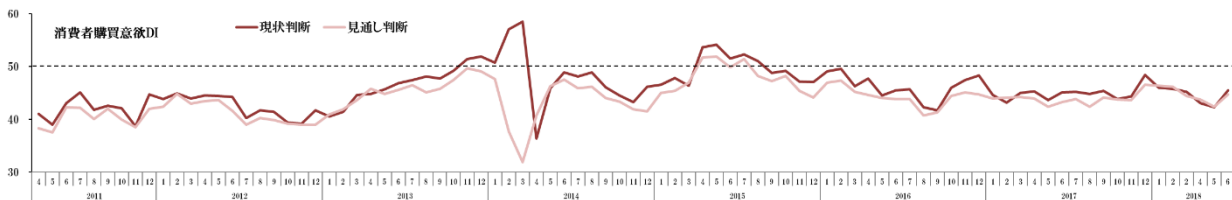
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	4.0	30.0	61.0	5.0	0.0	41.8
【現状】景気判断 (当月)	2.1	24.1	63.6	9.7	0.5	45.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	5.0	35.0	54.5	5.5	0.0	40.1
【見通し】景気判断 (当月)	2.1	28.4	60.3	9.3	0.0	44.2



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に大きく改善

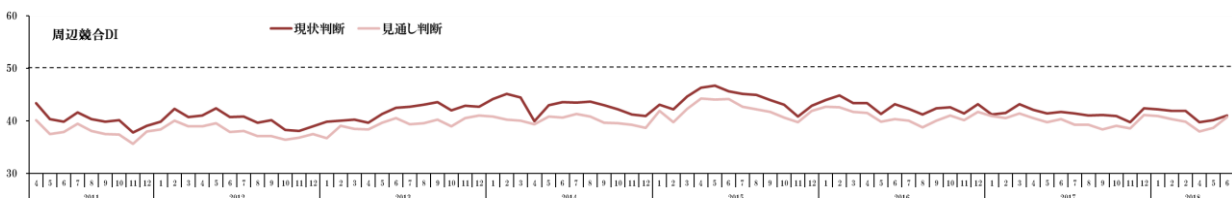
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	1.0	32.5	63.0	3.5	0.0	42.3
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	27.8	62.4	9.8	0.0	45.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.0	31.5	64.5	3.0	0.0	42.4
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	27.5	66.3	6.2	0.0	44.7



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断共にやや改善も、低位横ばい推移が続く

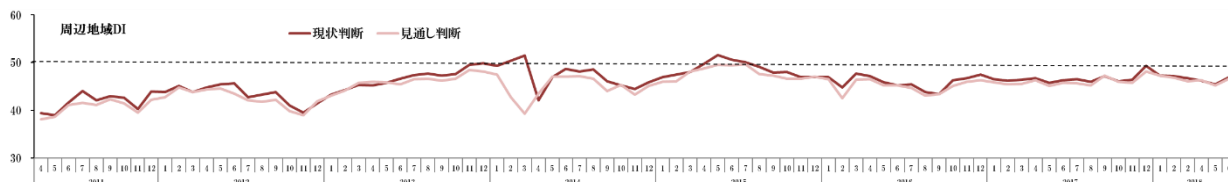
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	4.0	33.5	60.5	2.0	0.0	40.1
【現状】競合状況 (当月)	4.1	30.8	62.6	2.1	0.5	41.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	6.5	33.5	59.0	1.0	0.0	38.6
【見通し】競合状況 (当月)	4.6	30.4	62.4	2.6	0.0	40.7



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

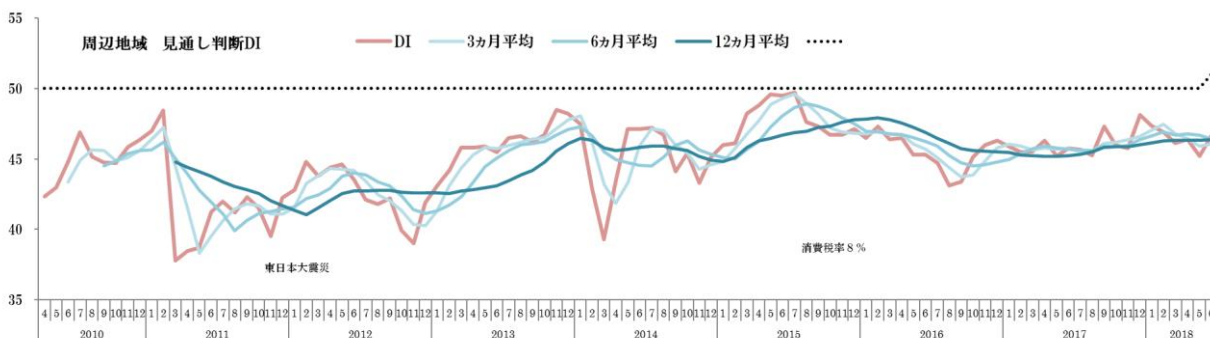
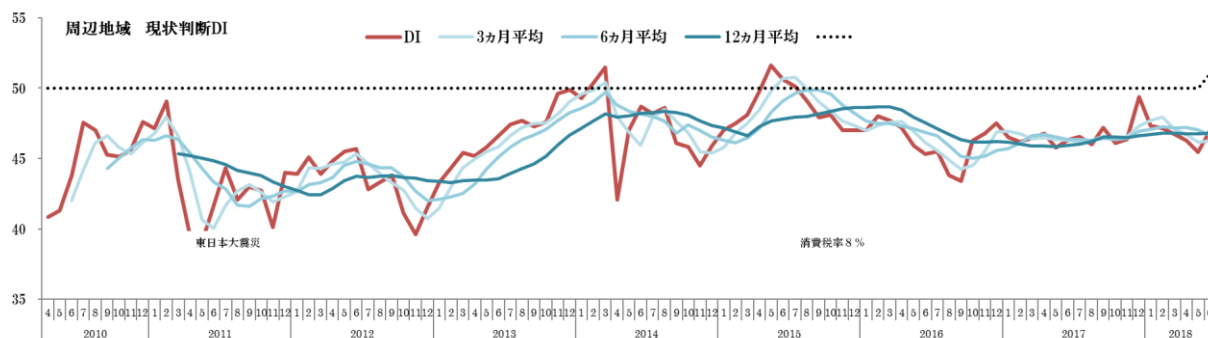
小幅に改善し、高水準を維持

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.0	17.2	80.8	1.0	0.0	45.5
【現状】地域景気 (当月)	0.0	15.0	81.9	3.1	0.0	47.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	1.0	18.7	78.8	1.5	0.0	45.2
【見通し】地域景気 (当月)	0.0	16.7	80.2	3.1	0.0	46.6



#### ※長期傾向 (2010年4月～)

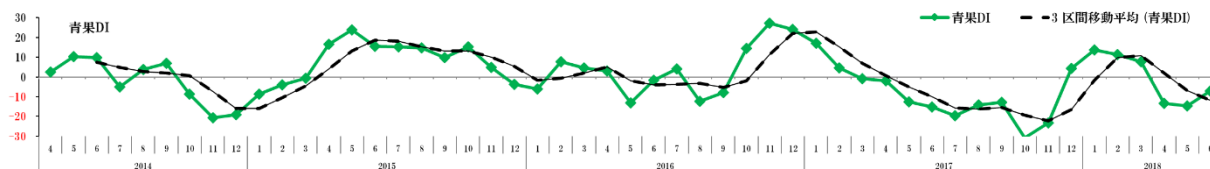
11年3月の東日本大震災後低迷を続けていたDIは、12年11月から16ヵ月にわたり改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。14年4月の消費税引き上げにより大きく悪化したものの、その後徐々に持ち直しをみせ、2015年5月には調査開始以来の最高値を更新し、現状判断DIは51.6にまで達した。しかしこれをピークとし、その後15ヵ月にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以降やや改善傾向が続いていたが、18年に入り悪化傾向が続き、5月には移動線付近を下回る水準まで低下したが、6月には一転して改善をみせている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-7.2（やや不調）

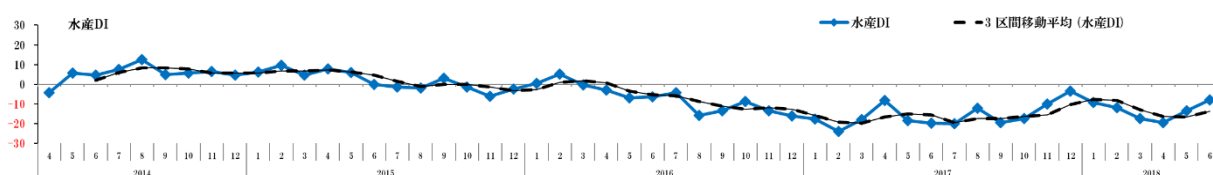
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	14.7	45.3	25.3	13.2	1.6	-14.6
<b>青果（当月）</b>	<b>7.4</b>	<b>37.8</b>	<b>32.4</b>	<b>20.7</b>	<b>1.6</b>	<b>-7.2</b>



野菜相場は引き続き前年より安値で推移しており、特にジャガイモや玉ねぎは下落幅が大きく、一品単価は厳しい状況となっておりやや不調であった。気温上昇によりトマトやキュウリなどサラダ商材は点数増となり好調となった。果物類は、前年より出荷時期が前倒しになっているものが多く、スイカやメロンなどのカットフルーツ、さくらんぼが好調となった。輸入果物ではキウイフルーツを好調にあげる店舗が多かった。

#### 2. 水産DI：-8.0（やや不調）

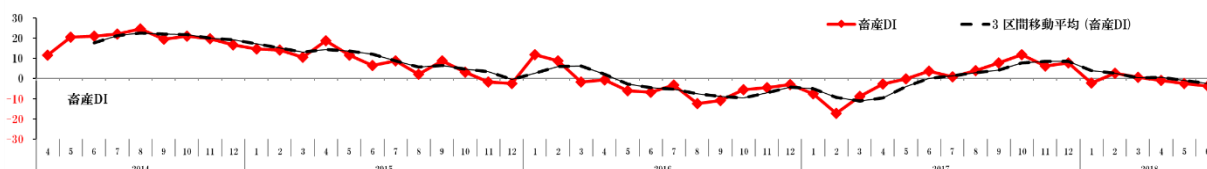
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	14.2	42.1	29.5	11.1	3.2	-13.3
<b>水産（当月）</b>	<b>13.3</b>	<b>31.9</b>	<b>31.4</b>	<b>20.2</b>	<b>3.2</b>	<b>-8.0</b>



アニサキス報道から1年が経過したことで前年比では下げ止まりもみられたが、生カツオの不振が続くなか、例年より多いアニサキスの影響を考慮して、冷凍を使ったタタキなどに販売方法を変更する店舗が多くみられた。マグロなど刺身類、相場の安定したエビ類、気温の上昇とともに海藻類が好調となった。前年好調だったうなぎは、相場が高騰しており苦戦している。

#### 3. 畜産DI：-3.6（やや不調）

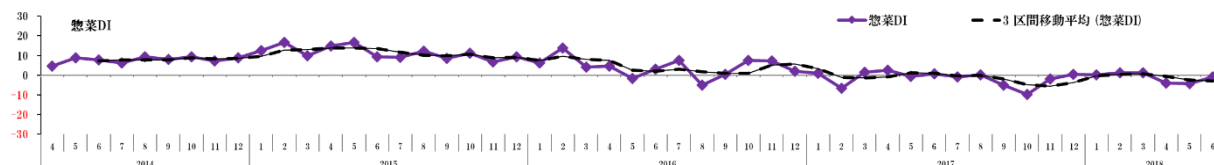
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	5.3	30.9	37.8	20.7	5.3	-2.5
<b>畜産（当月）</b>	<b>7.0</b>	<b>29.0</b>	<b>38.2</b>	<b>23.1</b>	<b>2.7</b>	<b>-3.6</b>



牛肉では土曜日が一日多い曜日巡りにより、週末向けに黒毛和牛などブランド牛や輸入牛を中心とした大容量商品が共に動きがよかった。相場の高めに推移している豚肉は、気温の上昇により冷しゃぶ用が好調になった。鶏肉はサラダチキン用が好調を牽引しているものの、単価の下落により伸び悩んだ店舗もみられた。ハムやソーセージなどの加工肉は不調とする店舗が多い。

#### 4. 惣菜DI：-0.8（やや不調）

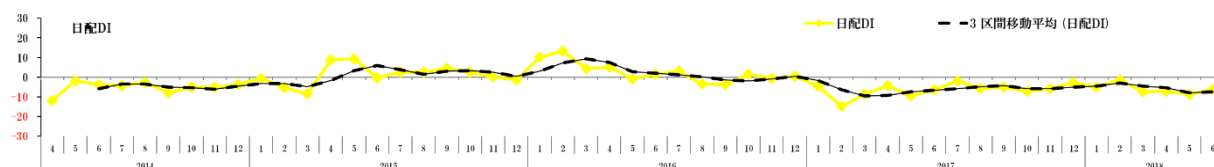
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	5.9	30.3	42.0	18.6	3.2	-4.3
<b>惣菜（当月）</b>	<b>6.5</b>	<b>23.8</b>	<b>41.1</b>	<b>23.8</b>	<b>4.9</b>	<b>-0.8</b>



土曜日が一日多い曜日巡りの恩恵や、前年アニサキス報道からの反動で寿司類が持ち直したことが追い風になった。サラダ関連の動きがよかったものの、一方で揚げ物は苦戦した。前年との気温差が大きかった地域では涼味惣菜が好調となった。米飯類は好不調まちまちの結果となった。コンビニエンスストアとの競合を指摘するコメントが多くみられた。

#### 5. 日配DI：-6.1（やや不調）

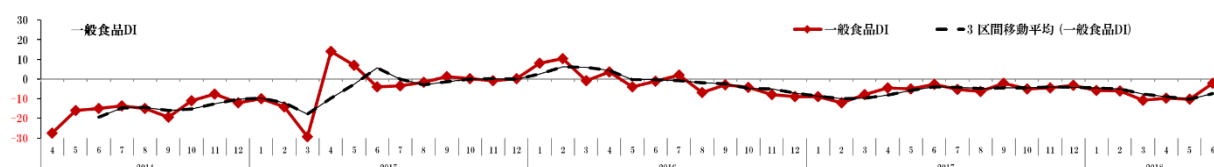
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	7.4	36.5	42.3	11.1	2.6	-8.7
<b>日配（当月）</b>	<b>6.9</b>	<b>31.7</b>	<b>42.3</b>	<b>16.9</b>	<b>2.1</b>	<b>-6.1</b>



特に下旬にかけて、前年より気温が高い地域では、アイス、飲料など涼味系商品の動きがよかった。健康報道に加え、価格上昇の納豆に加え、梅干しも特需となっている店舗が多い。気温の上昇によりパン類は動きが悪かった。牛乳やヨーグルトは好不調まちまちの判断となっているが、チーズやバターは好調とする店舗が多い。甘酒には前年特需からの反動もみられている。ドラッグストアとの競合を指摘するコメントもみられた。

#### 6. 一般食品：-2.2（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	7.3	40.3	40.3	10.5	1.6	-10.3
<b>一般食品（当月）</b>	<b>5.9</b>	<b>24.7</b>	<b>42.5</b>	<b>25.8</b>	<b>1.1</b>	<b>-2.2</b>

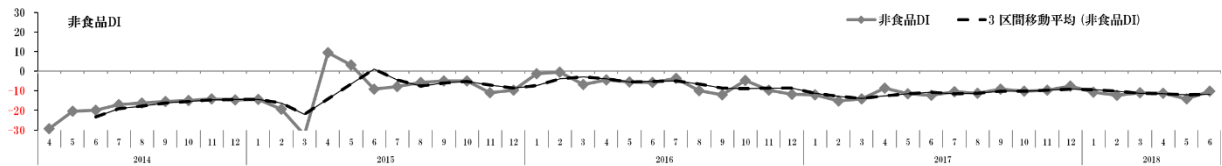


地域により前年との気温差で異なる結果となったが、前年より気温が上昇地域では、飲料や涼味関連商材の動きがよかった。米類は単価が上昇しており引き続き好調となっている。前年じゃがいも不足で品薄となりチャンスロスがあった菓子カテゴリーも好調となった。調理酢やオリーブオイルが好調なった店舗もみられた。種類は、前年酒税法改正前の駆け込みの反動が大きかった店舗では回復をみせた。防災意識の高まりによりインスタント麺など備蓄用食材に特需があった店舗もみられた。



## 7. 非食品 DI：-10.2（不調）

回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	16.2	36.8	36.8	7.6	2.7	-14.1
非食品（当月）	12.6	31.7	40.4	14.8	0.5	-10.2



気温上昇とともに、防虫剤や制汗剤、日焼け止めなど夏物商材の動きがよくなったが、タバコの落ち込みが続いているほか、ホームセンターやドラッグストアなどとの価格競争の影響を大きく、売場を縮小している店舗もみられ、全体的に伸び悩みをみせた。

### カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～20      好調：20～10      やや好調：10～0  
 やや不調：0～-10      不調：-10～-20      かなり不調：-20～

### 2018年7月調査（6月実績）キーワードTOP3

1. 土曜日が1日多い
2. 天候要因（気温上昇、例年より早い梅雨明け）
3. 来客数減

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

6月実績速報版 196社  
 5月実績確報版 200社

### スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)